



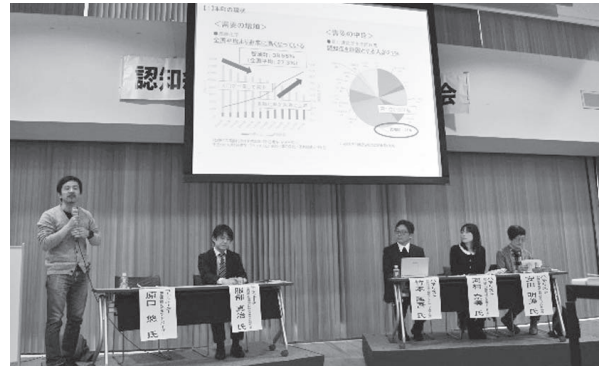
木のおもちゃでおままごと

木に学び、木と共に生き、木への理解を深める「木育事業」の一環で、木育キヤラバンin智頭町が開催されました。

東京おもちゃ美術館から取寄せた約20種類の木のおもちゃで子どもたちが遊びました。来場者からは「子どもが木に触れる機会があり良い、おもちゃも色々あり親も楽しめる」と感想をもらいました。

### 木に触れて遊ぼう

3月18日(日)ほのぼの



パネルディスカッションでの様子

認知症を正しく理解しよう  
2月11日(日)ほのぼの

認知症を知り地域で支える研修会が開催され、小規模多機能型介護施設で働く若者と認知症の高齢者を取り上げた映画「ケアーン」の上映、パネルディスカッションが行われ、「病院があるから大丈夫ではない。村ぐるみで支え合える雰囲気作りが大切。」といった感想が参加者からありました。地域での支え合いについて考える有意義な研修会となりました。

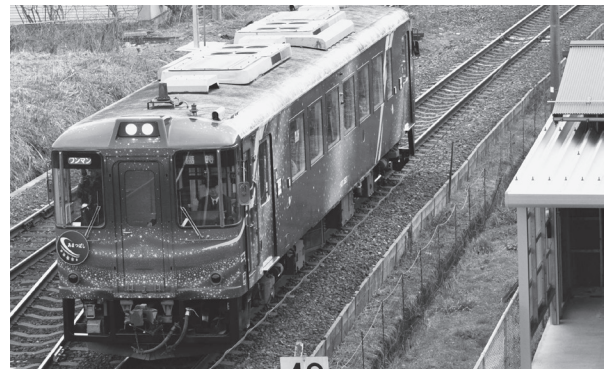


お雛さまづくり

雛あらし  
3月24日～25日(土・日)  
かわらまち・備前街道周辺

第16回目となる「雛あらし」が開催されました。24日はおかげ地蔵市と同時開催でたくさんのお雛さまと来場者で賑わいました。

また、町内会の各おもてなし会場でお雛さまの各パーツを集めて手づくり雛を完成させるミニお雛さまつくりラリーや観光協会2階で色紙のお雛さまづくりが行われました。



皆さんを乗せていざ出発

あまつぼしお披露目会  
3月18日(日)智頭駅

昨年智頭急行のイベント列車の内装がリニューアルされました。今回外装をリニューアルし「あまつぼし」と命名されました。

あまつぼしの名前は「天空の津(港)に集つ天上の星たち」からつけられています。この列車は定期列車として運行の他、イベント列車としても利用できます。とても綺麗な内外装を一度見てみるかどうか。



木のおもちゃ贈呈

**おもちゃで木を身近に**  
4月3日(火) 智頭町役場

木製のおもちゃを誕生記念としてプレゼントする取組みであるウッドスタート宣言により今年もおもちゃの贈呈式が行われました。おもちゃは智頭農林高等学校協力のもと、智頭町木材協会木女もくめ会が作製しました。

身近に木があることで、「智頭林業の文化・歴史」や「木と共に生きること」などを認識してもらうきっかけづくりとなりました。



施設の説明をする赤堀さん

**ちづDeer's 竣工式**  
3月28日(水)ちづDeer's

シカ肉処理施設「ちづDeer's」の竣工式が行われました。

この施設は智頭町百人委員会獣害対策部会員の赤堀広之さんが経営し、地域で狩猟されたシカが搬入され、解体・販売されます。

農林被害をもたらすシカを地域資源とし、ジビエとして特産品化することにより、更なる販路拡大が期待されます。



橋からの眺め

**春の訪れを感じながら**  
4月7日～8日(土・日)

第5回桜Cafeフェスティバルが開催されました。

今年は例年に比べ開花時期が早く、花の少ない桜Cafeとなりましたが、たくさんの方の屋台やステージでの様々な出し物があり多くの人が来場しました。

来場者からは「今年は満開の桜が見れず残念だったが来年も楽しみにしている」との声をもらいました。



連携協約締結式 4月1日(日)

**因幡・但馬麒麟のまち 連携中枢都市圏形成**

鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町及び新温泉町の1市5町による「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」の連携協約締結式が行われました。

この連携協約は、経済成長のけん引や高次の都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上に取組むに当たり、地域に応じて方針や役割分担を決めるものです。